

各市などの防災及び減災に関する取組み紹介について

日時	令和6年10月27日(日)、11月10日(日)
場所	守口市立八雲中学校、守口市立八雲東小学校 運動場
内容	避難誘導訓練、消火訓練、救急訓練、炊き出し訓練、マンホールトイレ設置訓練、その他
目的	地域住民が災害に備え、災害発生時に迅速かつ適切に対応できる能力を高めること



取組内容 地区防災計画の策定と連携したマイ防災マップ及びコミュニティタイムラインの策定

取 組 概 要

浸水リスクのある伊加賀校区（小学校）から、浸水しない枚方小学校に向けて事前に避難ルール（対象地域や避難開始のタイミング等）を定めた地区防災計画の策定に併せ、マイ防災マップやコミュニティタイムライン、避難訓練の実施を行った。

策定のステップ	内 容
令和5年12月21日 意見交換会	伊加賀校区内の浸水地域を対象に、浸水しない枚方小学校へ向けた避難について、伊加賀・枚方校区で認識の共有と計画策定に向けた意見交換を実施。
令和6年1月11日	伊加賀・枚方校区広域避難版地区防災計画策定。
令和6年10月21日 避難ルートの下見	計画に基づく避難訓練を枚方ひこ防‘z（枚方市総合防災訓練）で実施するため、具体的な避難ルートについて校区自主防災会役員、淀川河川事務所、枚方市で下見を実施。



策定のステップ

内 容

令和6年11月4日

淀川河川事務所より避難所までの危険箇所を反映した避難ルート「防災マップ」についての説明及び住民によるまち歩きを実施し、危険箇所の把握を行った。

ワークショップ及びまち歩き



令和6年11月15日

まち歩きにより完成した防災マップについて、校区自主防災会役員で確認を行う。

防災マップの提示

浸水目安や避難方向など、微修正を行った。



※完成した防災マップ。

策定のステップ

内 容

令和6年11月24日

枚方ひこ防'z

防災マップに基づき、校区内3か所の出発地点より避難訓練を実施。小型無線機を使用し、随時避難状況を枚方校区へ伝達するなど、両校区で広域避難及び受入訓練を実施。
枚方小学校到着後は、両校区及び施設管理者との顔合わせや、避難スペースとなる体育館の確認を行った。



令和6年12月7日
【コミュニティタイムラインの作成】

防災マップの提示

伊加賀校区及び枚方校区で、訓練の振り返りを行うとともに、どのような気象状況の時にどのような行動を地域でとるのかを定めた「コミュニティタイムライン」を大阪府支援のもと作成。

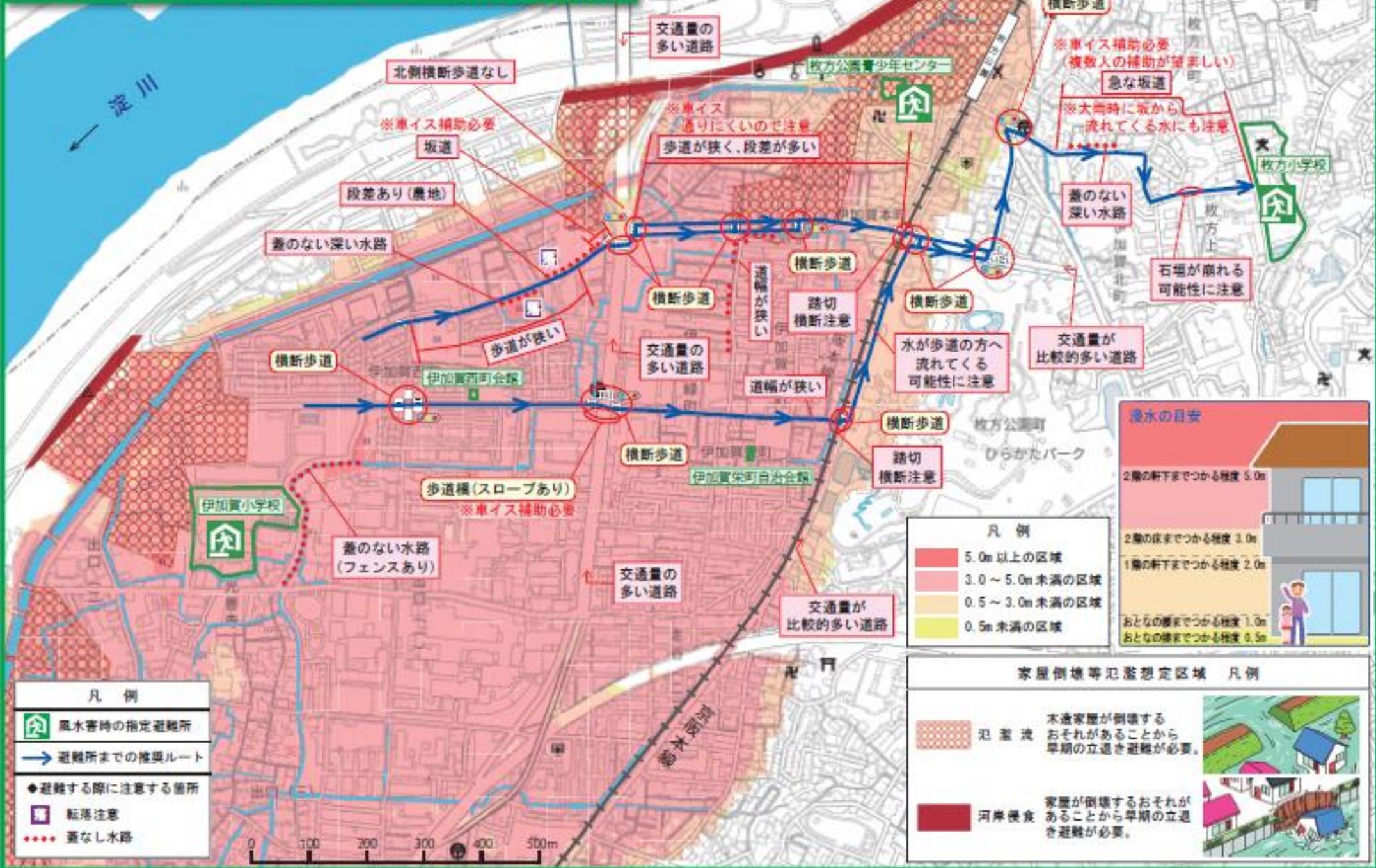


枚方市

伊加賀校区 マイ防災マップ

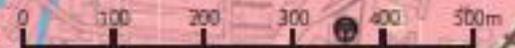
水害編

令和6年11月作成



凡例

	風水害時の指定避難所
	避難所までの推奨ルート
	避難する際に注意する箇所
	転落注意
	蓋なし水路



凡例

	5.0m以上の区域
	3.0～5.0m未満の区域
	0.5～3.0m未満の区域
	0.5m未満の区域



家屋倒壊等氾濫想定区域 凡例

	氾濫流 木造家屋が倒壊するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。	
	河岸侵食 家屋が倒壊するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。	

作成したコミュニティタイムライン

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注1）	市町村の避難情報警戒レベル	地域住民		地域の動き				
			避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安全確認	避難誘導	その他	
	台風進路情報								
	早期注意情報（避難の可能性がある情報） 台風に関する情報（随時）				テレビ、ラジオ、インターネットで気象情報を確認				
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報	注意注意情報 [注意注意水位到達]	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅合風対策実施 ・食料・ラジオ・ライト等点検	必要支援を要請				
	大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を 警戒に切り替える可能性について								
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	注意警戒情報 [避難判断水位到達]	警戒レベル3【警戒】 避難所開設準備 高齢者等避難	自主避難開始	避難開始 家族や地域が連携した避難開始	コミュニティ理事会LINE 自主防災会LINE 情報を流す	移動困難な高齢者に避難の声かけ、援助など(町内の用ごと)	逃げたいけど足が悪いなどの人は車でピストン輸送する(公園駅ロータリーまでは何とか来てもらう)	避難者の名簿作成
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 暴風警報、高潮特別警報	注意危険情報 [注意危険水位到達]	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	近所に声を掛けながら避難	避難完了		逃げ遅れがないかcheck	小学校周辺の交通誘導	備蓄品を配布
大雨特別警報 暴風注意警報	注意緊急情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	逃げ遅れた人は、自宅内の災害の受け皿がない場所へ避難し、安全確保する。						

総合防災訓練(ひこ防'z)概要

日時	令和6年11月12日(火)	1. 防災研修 9時30分～12時
	令和6年11月24日(日)	2. 防災訓練 9時～12時
		3. 防災イベント 13時～16時

場所	1. 研修会場	枚方市役所 別館4階 第3・4委員会室
	2. 訓練会場	一次避難所(磯島・殿山第一・西牧野・船橋校区)・防災備蓄倉庫・伊加賀校区～枚方小学校までの避難経路・ラポールひらかた・総合福祉センター・生涯学習市民センター・要配慮者利用施設
	3. イベント会場	枚方市役所 第3分館大ホール前広場

内容	1. 本部員・危機管理施策推進委員(交代要員を含む)を対象に目標管理型の災害対応のプロセスを体験する防災研修
	2. 市内全域対象のシェイクアウト訓練や地域、災害時応援協定先、行政の3者が連携して一次避難所で行う防災訓練、市内の参加希望団体が行う防災訓練
	3. 見る・知る・体験などの学びを通して、防災啓発を行う市民参加型の防災イベント

1. 防災研修

講師

河田 慈人 氏 (かわた やすひと)

専門

防災教育、地域防災、防災情報、行政の災害対応

研修内容

座学(30分)

演習内容説明(20分)

演習(100分)

【演習内訳】

①現状把握(10分)

市職員の立場で現在発生している被害状況を把握する
(資料の読み込み作業)

②将来予測(35分)

被災者の立場で今後困難が想定されることを考える

③目標設定・④対応方針
(合計35分)

市職員の立場で今後行政がとるべき目標・対応方針を決定する

⑤戦略的広報(20分)
(市長レク・模擬記者会見)

首長の立場で、被災地住民や全国に向けたメッセージを発信してもらう内容をレク(質疑応答)



2. 防災訓練

1. 市内全域を対象とした一斉行動 防災訓練(シェイクアウト訓練)

●午前9時に震度6強の地震を想定して緊急速報メール(エリアメール)を発信

この緊急速報メール(エリアメール)を合図に、「まず低く、頭を守り、動かない」身の安全を確保する行動を！



2. 広域避難訓練

●水害を想定し浸水想定区域に立地する伊加賀校区から高台にある枚方小学校への広域避難訓練を実施

3.00000JAPAN(公衆無線LAN) 回線チェック参加校区(合計20校区)

総合防災主訓練 校区一覧 (小計 5校区)

磯島区	殿山第一校区
西牧野校区	船橋校区
枚方校区	

総合防災主訓練外 校区一覧 (小計 15校区)

樟葉南校区	牧野校区
殿山第二校区	山田校区
禁野校区	サダ東校区
川越校区	サダ校区
五常校区	二中校区
香里校区	田口山校区
長尾校区	津田南校区
藤阪校区	



4. 一次避難所の開設・資機材展示および協定先などとの連携訓練

校 区	訓 練 内 容	
磯 島	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所開設 ●資機材展示 ●特設公衆電話の設置 ●救済物資の受入体制の確認(車両搬入路・物資受入れ場所など) ●給水活動の手順の確認(車両搬入路・給水場所の設定など) 	建物安全点検の手順の確認
殿山第一		建物安全点検の手順の確認
西牧野		消防レスキュー隊による救助
船 橋		ペット預かり所の実証実験





5. 災害ボランティアセンター(ラポールひらかた)の開設・運営訓練 ならび社会福祉協議会と協定先との連携訓練

6. 生涯学習市民センターの避難訓練

- 生涯学習市民センターが、危機管理マニュアルに基づき行う避難訓練(図上訓練を含む)

6-1. 訓練参加生涯学習市民センター(合計2施設)

くずは生涯学習市民センター

生涯学習交流センター

7. 要配慮者利用施設の避難訓練

●要配慮者利用施設が、避難確保計画に基づき行う避難訓練(図上訓練を含む)

7-1. 要配慮者利用施設の避難訓練 参加施設一覧(合計32施設)

施設種別	名称	担当課
放課後等デイサービス	フェアリー	福祉指導監査課
有料老人ホーム	ライフリゾート枚方	
認知症対応型通所介護事業所	デイサービス ウイズユー	
共同生活援助	たけとんぼ	
生活介護	わかたけ	
共同生活援助	わかば	
就労継続支援B型	わお	
(生活介護)	わお	
認知症対応型共同生活介護	たんぼぼ田口	
地域密着型通所介護事業所	アミーゴ	
有料老人ホーム	ナーシングホームアイエス	障害企画課
就労継続支援B型	クッキー工房おれんじはうす	
地域活動支援センター	クロスロード	住宅まちづくり課
サービス付き高齢者向け住宅	桃寿苑枚方	
サービス付き高齢者向け住宅	ディーフェスタくずは	
サービス付き高齢者向け住宅	めぐりカーム	
サービス付き高齢者向け住宅	MYYケアリング枚方	

施設種別	名 称	担当課
小規模多機能型居宅 介護事業所	ケアタウン枚方	福祉指導 監査課
就労継続支援B型	一般社団法人すずらん すずらんアニメーションスタジオ枚方	
老人保健施設	医療法人大寿会介護老人保健施設ユートピア	
老人保健施設	医療法人松徳会介護老人保健施設老健ふじさか	
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム御殿山カーム	
通所リハビリテーション 事業所	社会医療法人美杉会介護老人保健施設美樟苑	
認知症対応型共同生活 介護事業所	社会医療法人美杉会グループホームくすのき	
老人保健施設	社会医療法人美杉会介護老人保健施設美樟苑	
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームいこいの里	
認知症対応型共同生活 介護事業所	ウイズユー	
デイサービス（訪問介 護）（居宅介護支援）	癒しの森	保健 医療課
病院	社会医療法人美杉会 佐藤病院	
病院	友隣会メディカルクリニック	
病院	医療法人桜花会あきせウィメンズクリニック	
病院	医療法人成育会なりもとレディースホスピタル	

8. 健康福祉部が行う福祉避難所開設訓練ならびに協定先などとの連携訓練(机上訓練を含む)

- 福祉避難所(総合福祉センター)を開設
- 事前の机上訓練にて、福祉避難所で不足する福祉用具等を確認し、協定先(日本福祉用具供給協会)へ物資の供給要請を行い、物資の受入・運搬の確認
- レンタル事業者・配送事業者(ダスキンレントオール・AZ-COM丸和運輸との情報伝達連携訓練ならびに福祉避難所(総合福祉センター)への救援物資の輸送訓練

枚方市



ダスキンレントオール+AZ-COM丸和運輸



福祉避難所

- 総合福祉センター利用者に対する防災食(おかゆ)の試食会

9. 災害対策本部事務局と各避難所間の情報伝達方法の実証実験

- 4校区の避難所派遣職員が在宅ワーク用PCを使用して、避難所に関する情報を災害情報システムに入力作業を行う

3. 防 災 イ ベ ン ト

日 時	防災イベント：令和6年11月24日(日)13時～16時
場 所	イベント会場：枚方市役所 第3分館(旧市民会館)大ホール前広場
内 容	見る・知る・体験などの学びを通して、防災啓発を行う市民参加型の防災イベント
目 的	起震車やVR地震システム・浸水歩行などの体験型ブースをはじめ、災害対策に欠かせないライフラインに関する最新情報や非常食の展示販売などのブースを通して、市民の防災に関する意識の高揚と知識の向上を図る機会とする

出展予定団体	防災イベント出展内容(15団体 19ブース)
市 (3ブース)	防災に関する啓発・特殊詐欺など防犯に関する啓発(危機管理部)
	木造住宅耐震化模型や補強金物の展示など耐震化の啓発(住宅まちづくり課)
	土のう作成・部の取り組み(道路交通網の整備や主要駅周辺の交通環境の改善、公園の整備や緑化推進など)を示したパネルの展示(土木部)
上下水道局	給水車展示、給水活動実演等(上下水道総務課)
消防組合 (3ブース)	●防災・住警器に関する広報等※住警器ブース ●火災予防啓発(日常に潜む火災危険、燃焼実験等)※調査ブース ●ミニ消防車の展示、子供用防火服の着装体験・記念撮影 ●地震体験 ●煙体験
消防団	防災に関する展示・応急手当体験
コバシ産業	非常用持出袋や災害備蓄品等のプロモーション
たまゆら	防災グッズの展示
関西電力送配電	防災パネルの展示・防災ハンドブックの配布・感震ブレーカーパネルの実演
摂南大学	災害時の食事に関するパネル展示とレシピの配布

出展予定団体	防災イベント出展内容(15団体 19ブース)
大阪工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ●VR・MRデバイスを用いた防災意識向上システム体験 MR体験・・・体験者には、テント内に設置した家具や物体などをMRデバイスを通して見てもらい、危険な箇所にある物体を安全な場所に移動してもらおう VR体験・・・認知バイアスがかかった状態でのVR地震避難体験 VRデバイスを装着してもらい、体験してもらおう
河川レンジャー	<p>浸水地歩行体験と風水害に対する備え(簡易水槽を用いた浸水地の歩行体験を行い、水害のリスクや移動時のデメリットなどについて解説。その後枚方市の防災ガイドを交えながら、リスクの低い避難方法や備えについても解説する。)</p>
大阪ガスネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ●マイコンメーターデモ機を使った復帰操作実演 ●ガス管モデルやパネル等を使った都市ガス安全取組みの紹介
NTTドコモ	<ul style="list-style-type: none"> ●展示用パネル6枚(南海トラフ巨大地震の対策等、ドコモ災害対策の取組み説明) ●避難所支援物の展示(無料充電・無料Wi-Fiの展示) ●ドコモ防災対策PR用映像の再生(PCモニターで再生) ●防災ハンドブック等のノベルティ配布
JUAVAC大阪枚方校	ドローン展示・パネル展示・チラシ設置
コマツ	<ul style="list-style-type: none"> ●小型建設機械を2台展示(PC01EとPC05E) ●災害復興支援パネルの掲示 ●モニタで支援活動の映像を放映
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府河川防災情報ホームページリニューアルに係る操作説明 ●防災パネル展示による啓発 ●防災クイズ参加者への備蓄物資の配布など



総合防災訓練参加団体(者)数

		小 計		総 計	
市 役 所	本部員・危機管理施策推進員※1	57人	113人	参加者数: 約3,638人 参加団体数: 生涯学習市民センター 2施設 21校区 要配慮者利用施設 32施設	
	派遣・交代職員	13人			
	職 員 ※2	43人			
※1 防災研修(50名)と防災訓練(7名)の参加者が一部重複 ※2 危機管理部21・都市整備部7・上下水道部11・健康福祉部4					
避 難 所 訓 練 (4 校 区)	磯島小学校	100人	461人		
	殿山第一小学校	32人			
	西牧野小学校	69人			
	船橋小学校	260人			
避 難 所 訓 練 (協定先並びに関 係機関)	参加団体 ※3		42人		
※3大阪府トラック協会6・大阪府建築士会3・JUAVAC2・ダスキンレントオール9・AZ-COM丸和4・社会福祉協議会(ボランティア含む)13・総合福祉センター5					
広 域 避 難 訓 練 (2 校 区)	伊加賀小学校	20人	28人		
	枚方小学校	8人			
イ ベ ン ト	防災ブース	94人	約2,994人		
	来場者	約2,900人			
そ の 他	生涯学習市民センター	2施設			
	防災主訓練外校区	15校区			
	要配慮者利用施設	32施設			

取組内容 寝屋川市河川監視カメラシステムの構築

【取組概要】

市内河川 5 か所において、クラウドシステムによる河川監視カメラを設置し、水位の常時確認を可能とすることで、危険リスクや巡回数を低減するとともに、水位映像を市ホームページに 2 画面で映し出し情報発信することにより、市民に分かりやすい防災情報のサービス提供につなげる。

【事業費】

9,838千円（デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）を充当）

【システム運用画面（寝屋川市HPより）】

① 寝屋川(分水施設)
 ② 寝屋川(寝屋川せせらぎ公園)
 ③ 古川(大久保神田橋)
 ④ 打上川治水緑地 全景
 ⑤ 打上川治水緑地 越流部

大阪府 河川防災カメラ
 A 寝屋川(古川導水路)
 B 讃良川(高橋)
 C 寝屋川(寝屋川治水緑地)
 D 古川(桑才)

① 寝屋川市河川監視カメラシステム

局選択 寝屋川(分水施設)

2025年04月17日 09時37分

平常時の様子

観測局	寝屋川(分水施設)
監視状態	監視中
所在地	寝屋川市平池町

寝屋川の基準水位観測所の水位状況は **こちら**
 基準水位観測所の水位が、3.5mを超えてさらに水位が上昇するとき、桜木水門を開けて分水水門から寝屋川導水路(淀川)への放流を行います。

お問い合わせ先：寝屋川市 上下水道局 下水道事業室 ☎072-825-2162

4. 寝屋川市の天気と雨の情報

凡例 ○：監視中 ●：点検中 □：欠測中

取組内容

- 街歩きを行いコミュニティハザードマップの作成
- 風水害におけるコミュニティタイムラインの作成

年度当初に区長会において、地区防災計画作成希望調査を行ったところ2地区が希望され、計画作成に向けて街歩きを行い危険箇所や避難経路の確認を行った。そのうち **1地区は、街歩きの成果を基にコミュニティタイムラインを作成した。**

今後、2地区とも地震のタイムラインも作成し、地区防災計画として災害発生時の地域としての活動を時系列にまとめるとともに、編成及び資機材等の整備も含めて検討を行った後、文書化を行い、大東市防災会議に上程し、承認をいただく予定。

特に、タイムライン作成時に、災害時の地域活動を行う上で、**自治会活動の希薄化及び高齢化対策が課題としてあげられ、要配慮者の安否確認や避難をどのように支援するかについて熱心な討議が行われ、避難行動要支援者名簿の活用法や個別避難計画の作成推進についてはずみにもなった。**



取組内容 門真小学校の4年生を対象に、ARアプリを活用した防災授業を実施

門真市×大阪大学×大阪公立大学×大阪府 企画書（密集市街地内での防災授業）



■門真小学校でのARを活用した防災教育

- 目的：密集市街地内の小学校にて防災について楽しみながら学び、子どもたちの防災に対する理解、興味を持つきっかけづくりとなることと、さらに、子どもたちが学校で体験した内容を家庭内で共有してもらうことで、家庭内の防災意識の向上につなげる。
- 概要：大阪公立大学が開発したAR（拡張現実）アプリ「MUSUBOU-AR」を活用し、学校の敷地内に配置されている各ポイントをめぐり、スマートフォンの画面を通して災害（火災、水害、地震）を疑似体験してもらったり、クイズ形式で災害について学んでもらう授業を開催。ARを用いた疑似体験に限らず、学校内に整備されている防災備蓄倉庫の中身の確認などの実体験を組み合わせたカリキュラム
- 対象：門真小学校（小学4年生（約30名×2クラス））
- 実施予定：11/22（金）2・3限目。（1クラス45分×2）

【企画案】

- 各クラス45分体験×2クラス
- ・教室にて簡単なレクチャー後
 - ・10名3班集体制に分けて各ポイントを回る
 - ・ポイントは自由に変更が可能（室内は対応不可）



リアル体験 危機管理課でご対応いただけますと幸いです。
（防災倉庫・マンホールトイレなどの解説）



ARで災害体験（火災・水害・地震）

災害に関するクイズ（動画）



過去のまちを見てみよう！ ※体験時間が余れば実施
（自分が通う小学校の昔をみてみよう）



【1サイクル体験スケジュール（案）】

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ①家庭科室(1F)：プログラム概要説明 | =5分（大学、府、市） |
| ②運動場各所：災害AR体験+災害クイズ×3箇所 | =15分（府、市） |
| ③リアル体験：防災資機材等の解説 | =10分（市） |
| ④クイズの解説（+過去の航空写真※） | ※時間が余れば実施 =5分（大学、府、市） |

取組内容 門真小学校の4年生を対象に、ARアプリを活用した防災授業を実施

もずやん Lv:1

地震クイズ

こたえ かいとうようし こた か ©2018 大阪府もずやん

答えがわかったら解答用紙に答えを書こう！

防災マスター Lv:1

<クイズ>
地震に備えて飲み水を用意！
ひとりいちにちをなんりつとるぶん ようい
1人1日何L分を用意する？

- ① 1L(リットル)
- ② 3L(リットル)
- ③ 6L(リットル)
- ④ 9L(リットル)

もずやん Lv:3

火災クイズ

こたえ かいとうようし こた か ©2018 大阪府もずやん

答えがわかったら解答用紙に答えを書こう！

防災マスター Lv:3

<クイズ>
登下校中に火事を見つけた！
まずはじめにすることは？

- ① 大声で人をよぶ
- ② 見学する
- ③ そのまま帰る
- ④ 火事の家に入る

もずやん Lv:2

水害クイズ

こたえ かいとうようし こた か ©2018 大阪府もずやん

答えがわかったら解答用紙に答えを書こう！

防災マスター Lv:2

<クイズ>
大雨で避難しよう！
どんなくつをはいてにげる？

- ① ながぐつ
- ② サンドル
- ③ 運動ぐつ
- ④ 何もはかない



地震クイズ動画



地震AR



水害クイズ動画



水害AR



火災クイズ動画



火災AR

取組内容 門真小学校の4年生を対象に、ARアプリを活用した防災授業を実施ARアプリを用いた防災授業の様子

ダイジェスト動画があります(youtube)

<https://www.city.kadoma.osaka.jp/kurashi/anshin/4/6/32968.htm>

!



令和6年11月22日(金)に門真小学校の4年生を対象に、ARアプリを活用した防災授業を行いました。当日は、大阪大学、大阪公立大学、大阪府の協力のもと、スマートフォンの画面を通して災害の疑似体験や、クイズ形式で災害について学んでもらいました。

取組内容 住民主体の避難所の開設等の連携イメージの共有

日時：12月1日（日）

場所：田原小学校

内容：市民と連携した避難所の開設訓練、マンホールトイレ、かまどベンチの設置・展示を行った。寝屋川流域協議会(下部写真)はじめ、一般事業者の協力を得て啓発ブースを設置し、来場者へその啓発を図った。



取組内容 防災力強化事業の一環として、トイレトラック1台、トイレカー2台を購入

災害時の衛生環境の維持向上を目的とし、トイレトラックとトイレカーを導入しました。それぞれ他機関・他の自治体と協定を締結し、相互支援の仕組みを構築しています。導入にあたっては、緊急防災減災事業債の活用に加え、クラウドファンディングによる資金調達を実施しました。

トイレトラックトイレカー

取組内容 ・治山事業、森林整備・保全を推進



（目的）枚方市津田地内において、溪床、溪岸の荒廃を防止するとともに、下流への土砂の流出を抑止調整するための治山施設（治山ダム工（谷止工 鋼製）1基）を整備した。併せて上流側の森林整備（風倒木処理）を実施した。

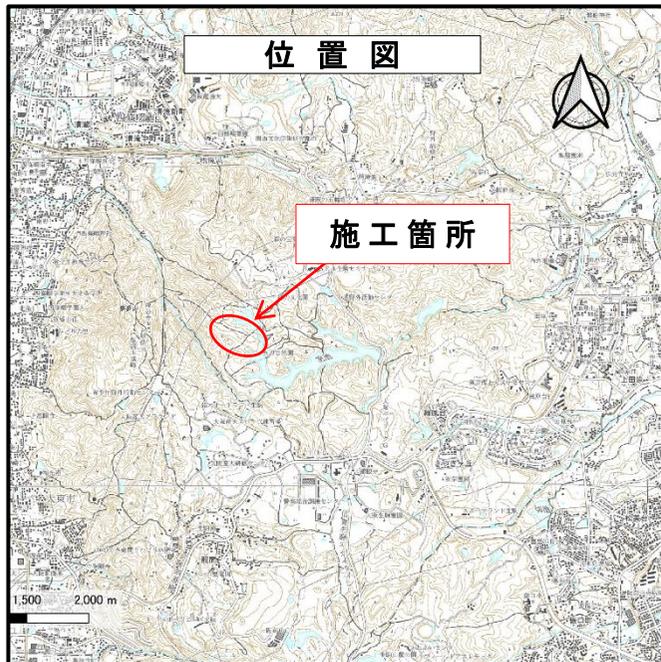


①治山ダム全景



②森林整備（風倒木処理） 施工前後

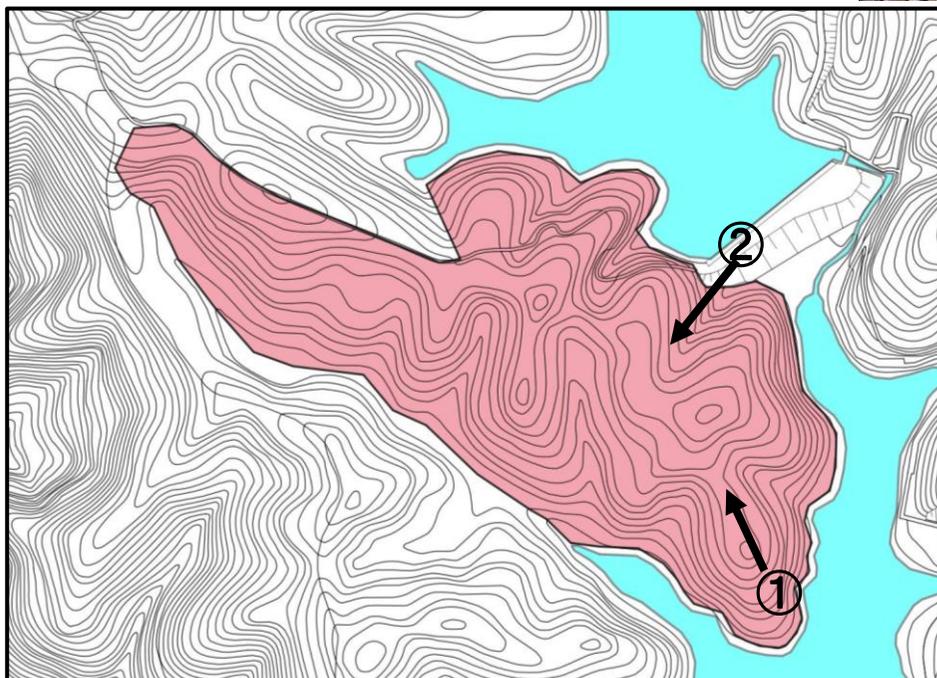
取組内容 ・森林整備・保全を推進



（目的）四條畷市南野地内において、河川への土砂、流木流出の抑止・山地保水力の向上のための森林整備（整理伐・筋工）を実施した。



①森林整備（整理伐） 施工前後

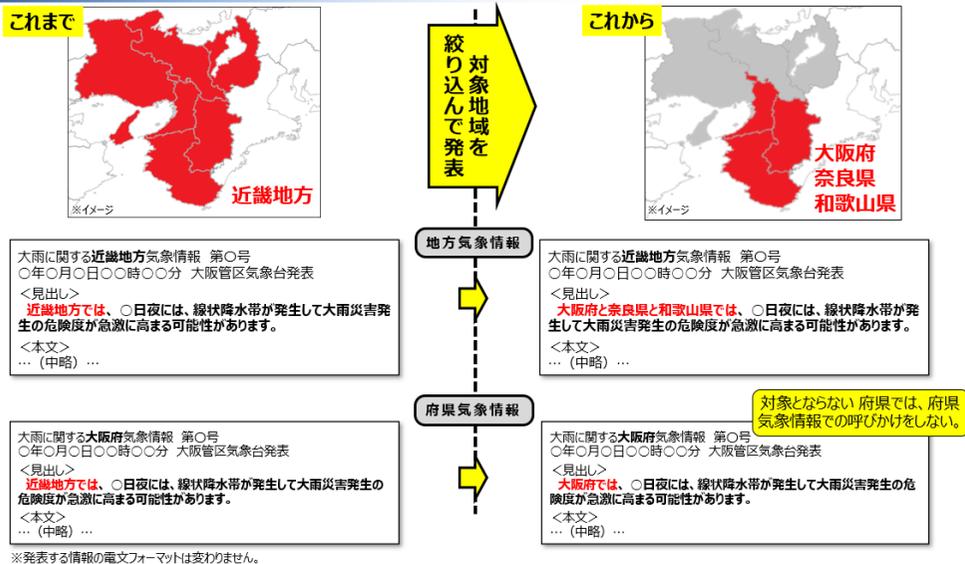


②森林整備（筋工） 施工前後

取組内容 線状降水帯に関する情報の改善と気象情報における量的予報の表現の変更について

1. 線状降水帯に関する情報の改善について

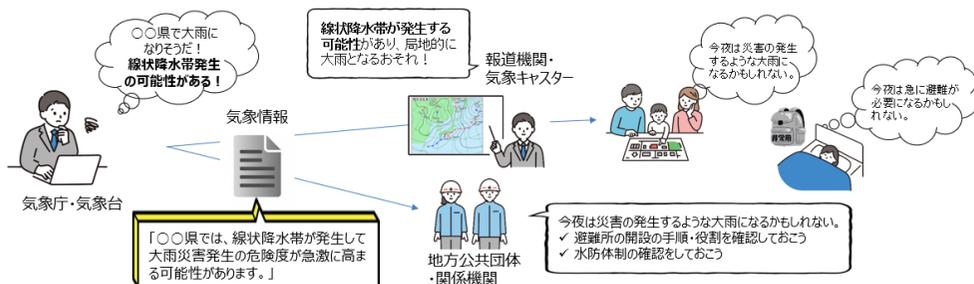
令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）



呼びかけが行われた時の対応例

府県単位で呼びかけを行います、これまでと対応を変える必要はありません。

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- 市町村の防災担当の皆さまは、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えてください。
- 住民の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。



2. 気象情報における量的予報の表現の変更について

近畿地方・大阪府気象情報における量的予想の表現の変更

令和元年から実施していた内容

24時間以上先（72時間先まで）の 降水量 降雪量
明後日の 風速 波高

誤差を考慮して幅を持たせた表現

幅を持たせた量的予想は、予報の不確実性を伝えることができる一方で、わかりにくさがあった。運用から5年が経過し検証したところ、24時間先までの予想と、24時間以上先の予想の精度が同等だった。

令和6年出水期から

降水量や降雪量、風速、波高の幅のない表現に変更

令和5年8月13日に発表した大阪府気象情報を例に

令和5年 台風第7号に関する大阪府気象情報 第2号
令和5年8月13日05時35分 大阪管区気象台発表

(見出し) <省略>
(本文) <省略>

[風の予想]
大阪府では、15日は、暴風となるおそれがあります。
14日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
陸上 15メートル（30メートル）
海上 20メートル（30メートル）
15日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
陸上 20から24メートル（30から40メートル）
海上 25から29メートル（35から45メートル）

[波の予想]
大阪府では、14日から15日にかけて、波が高くなる見込みです。
14日に予想される波の高さ
大阪府 2.5メートル
15日に予想される波の高さ
大阪府 2.5から3メートル

[雨の予想]
大阪府では、15日から16日頃にかけて警報級の大雨となるおそれがあります。
14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
大阪府 50から100ミリ
15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
大阪府 100から200ミリ

明後日

明後日

24時間以上先

15日に予想される最大風速（最大瞬間風速）
陸上 23メートル（35メートル）
海上 28メートル（40メートル）

15日に予想される波の高さ
大阪府 3メートル

14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
大阪府 80ミリ
15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
大阪府 200ミリ

(注) 24時間降水量の「多い所」が複数日にわたって地域内の同一場所とは限らないため、単純に足し合わせると過大になります。そのような使い方はしないでください。